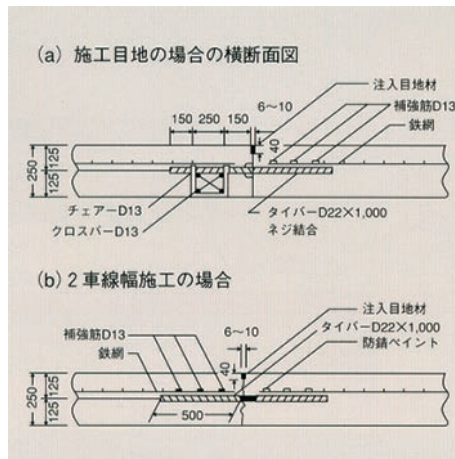


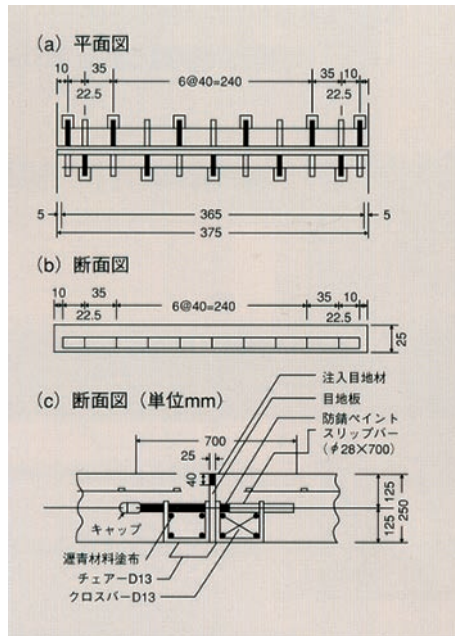
舗装要綱による設計例

縦目地の設計例



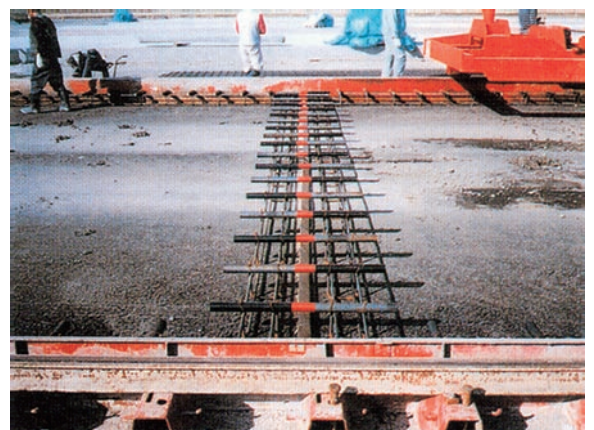
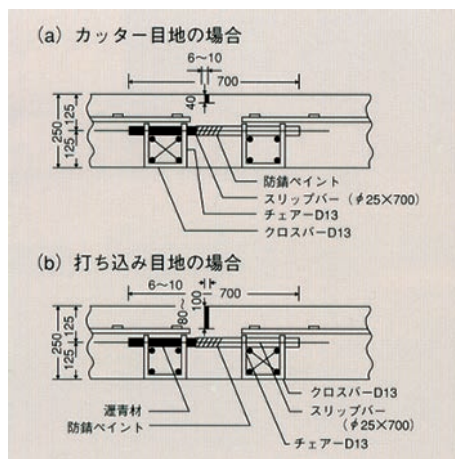
縦目地の設置状況

横膨張目地の設計例



横膨張目地の設置状況

横収縮目地の設計例



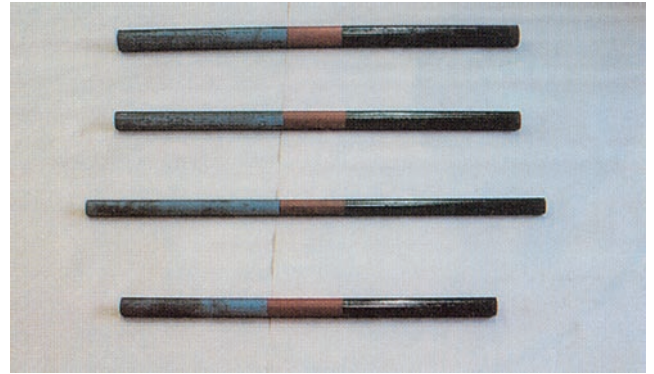
横収縮目地の設置状況

スリッパ&ソケットネジ付スリッパ

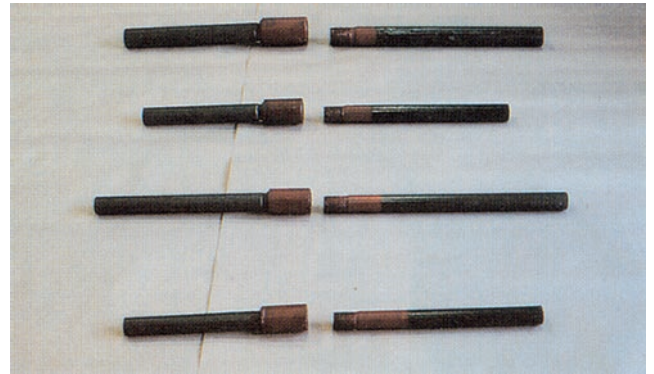
スリッパは、一般に、膨張目地、収縮目地を、横断して用いる丸鋼で、荷重伝達を図り、収縮に追随できるように、片側に瀝青材料等を塗布し、スリップできるようにしたものをいう。膨張目地に用いる場合はコンクリート版の膨張を吸収できるように片側にキャップを用いる。

スリッパ使用例

場 所	スリッパサイズ	ソケットネジ付スリッパサイズ
道路	φ25×500	φ25×500
	φ28×500	φ28×500
	φ25×700	φ25×700
	φ28×700	φ28×700
	φ32×700	φ32×700
港湾	φ25×500	φ25×500
	φ32×600	φ32×600
空港	φ32×550	φ32×550
	φ32×600	φ32×600
	φ38×650	φ38×650
	φ38×700	φ38×700
	φ42×800	φ42×800



スリッパ



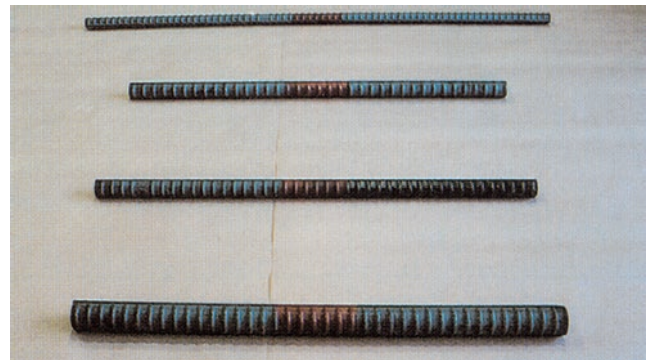
ソケットネジ付スリッパ

タイバー&ソケットネジ付タイバー

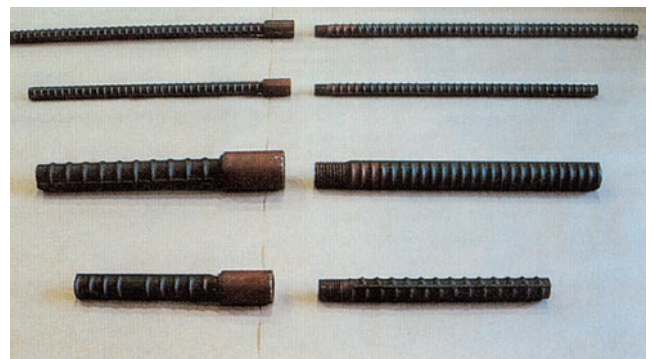
タイバーは一般に縦目地（ダミー目地、突合せ目地）を横断して用いる異形棒鋼で目地が開いたり、くい違ったりするのを防止し、荷重伝達能力によってコンクリート版の縁部を補強する高い効果があります。

タイバー使用例

場 所	タイバーサイズ	ソケットネジ付タイバーサイズ
道路	D16×1,000	D16×1,000
	D22×1,000	D22×1,000
	D29×700	D29×700
港湾	D25×1,300	D25×1,300
	D32×1,600	D32×1,600
空港	D32×550	D32×550
	D32×600	D32×600
	D38×650	D38×650
	D38×700	D38×700
	D41×800	D41×800



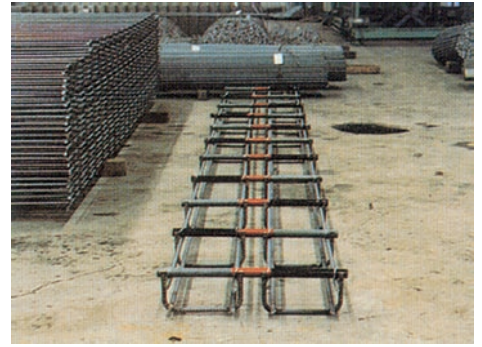
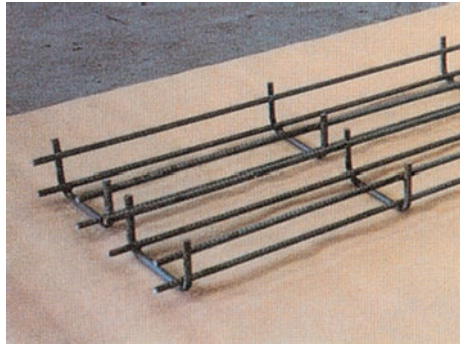
タイバー



ソケットネジ付タイバー

チェアー（溶接加工）

チェアーは、スリッパ、タイバーを均一に配列し、正しくコンクリート版に埋め込まれるように固定する役目の他、チェアーを継ぐ、クロスバーは縁部補強としての役目も含まれています。
 ※ チェアーの御注文の際は、舗装厚、舗装幅、使用場所等をお知らせ下さい。

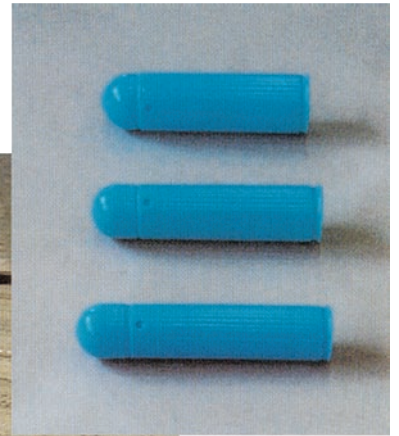
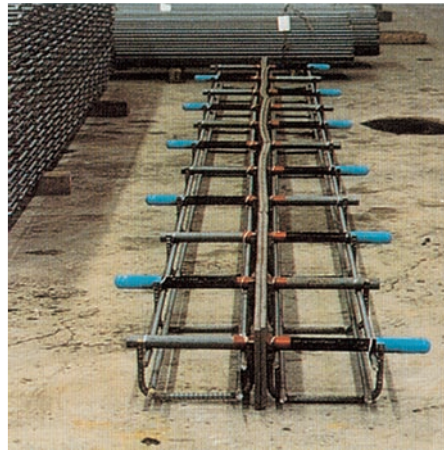


ポリキャップ

ポリキャップは、コンクリート舗装に於ける膨張目地で使用され、スリッパの片側にかぶせて使用し、コンクリート版の膨張を吸収できるように使用します。

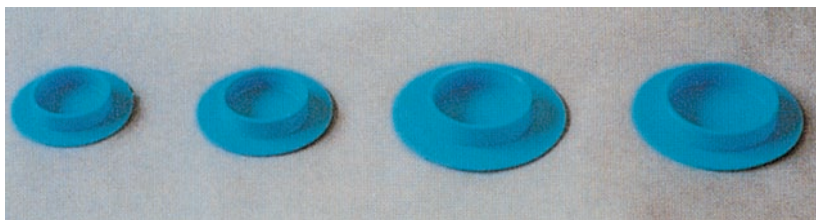
キャップの種類

キャップ呼称	使用するスリッパ
16×100	φ16
19×100	φ19
22×100	φ22
25×100	φ25
28×150	φ28
32×150	φ32
38×150	φ38
42×150	φ42



クリアーキャップ

従来ソケットネジ付タイバー、スリッパを用いる場合、ソケットのネジ部分にコンクリートが入るのを防止するためにグリース等をつめてましたが、施工を容易にできるよう開発した商品です。



キャップの種類

キャップ呼称	使用するソケット ネジ付スリッパ	使用するソケット ネジ付タイバー
16用	φ16	D16
19用	φ19	D19
22用	φ22	D22
25用	φ25	D25
28用	φ28	D28
32用	φ32	D32
38用	φ38	D38
42用	φ42	D42